

製品名: ホスホアセチルコエンザイム A カルボキシラーゼ (Ser79) ウサギモノクローナル抗体
カタログ番号: AMRe87243

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化、アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:277 kDa; Observed MW:277 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Acetyl Coenzyme A Carboxylase
別名	ACC; ACAC; ACC1; ACCA; ACACAD
遺伝子 ID	31, 32
SwissProt ID	Q13085, O00763
免疫原	ヒトアセチルコエンザイム A カルボキシラーゼの Ser79 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

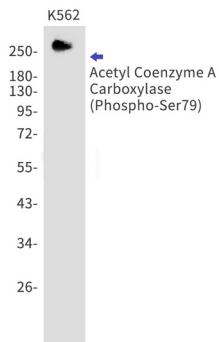
背景

アセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) は、複雑で多機能な酵素系です。ACC はビオチン含有酵素であり、脂肪酸合成における律速段階であるアセチル CoA からマロニル CoA へのカルボキシル化を触媒します。ACC には α 型と β 型の 2 つの型があり、それぞれ異なる遺伝子によってコードされています。ACC- α は脂肪形成組織に多く存在します。この酵素は、転写レベルおよび翻訳レベルでは長期的制御を受け、標的セリン残基のリン酸化 / 脱リン酸化、およびクエン酸またはパルミトイル CoA によるアロステリック変換によって短期的に制御されています。この遺伝子には、5'配列が異なり、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



アセチルコエンザイム A カルボキシラーゼ (リン酸化 Ser79) 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562 細胞溶解物中のアセチルコエンザイム A カルボキシラーゼ (リン酸化 Ser79) のウェスタンブロット検出。